

JARA 発番 2019-006 号

平成 31 年 4 月 3 日

公益社団法人日本ボート協会

タレント発掘委員会

日本ボート協会タレント発掘・育成事業戦略プラン 2019

日本ボート協会のタレント育成における根幹の一つは、人間力の向上である。欧米等ローイング先進国では、選手自身がローイングを通して自分自身と向き合い、己に打ち勝つことや、自分自身の内面から目標を見出しその目標に向かう内的動機づけを促す文化・哲学が浸透している。日本オリンピック委員会（JOC）強化部のスローガンでもある「人間力なくして競技力向上なし」についてアスリート自身がその意味を考え、競技力の向上だけを目指すのではなく、競技を通じた成長がテーマである。この世代におけるナショナルチーム活動を通じた人間力の醸成がシニアカテゴリーで大きく世界に羽ばたく礎を築くことをめざし育成を行う。

日本ボート協会タレント発掘委員会では 2014 年以降、総勢 6987 名（2019 年 1 月末現在）を対象にタレント発掘活動を行ってきた。ボートは長期育成の必要な競技であり「将来のメダリストを輩出するための長期的育成に基づくタレント発掘・育成事業の確立」が重要である。育成を継続的なものとしていくために、U19 カテゴリーまでに進め切れなかったタレント活動を U21、U23 カテゴリーへと継続的な強化を進める必要がある。本戦略プランでは、その基本的な考え方をまとめた。

Vision

これまで種目適正型を進めるタレント発掘コンソーシアムとの連携をはじめとしタレント発掘活動を推進し、システム構築を目指してきた。2019 年以降、発掘活動から育成活動へと繋げ、「長期的育成」をキーワードに有望選手を将来の金メダリストにまで繋がられるよう、東京オリンピックまでに、その基礎を確立したい。また同時に、種目最適型のタレント発掘事業を本格展開する。

Mission

- 1) NF のトライアウトの継続、タレント発掘コンソーシアム、J-STAR プロジェクトとの連携強化により更にタレント発掘活動を強化する。
- 2) 発掘された選手を育成する舞台を U19 から U23 カテゴリーにまで延長する。特に U19・U23 の間を補完する U21 カテゴリーの育成環境の整備を行う。
- 3) 種目最適型タレント発掘・育成システムを推進する。
- 4) JOC エリートアカデミーとの連携による強化の推進とその後のパスウェイ構築を図る。

Strategies

(1) タレント発掘活動のさらなる深化

1 - 1. 日本ボート協会が実施するトライアウト

日本ボート協会では、参加者数では世界トップレベルのタレント発掘活動を実施してきた。優秀な選手を獲得するために引き続き全国各地においてトライアウトを行いタレント発掘を継続する。

1 - 2. 地域コンソーシアムにおける発掘

各地のタレントコンソーシアムは質という意味では申し分ないレベルにある。これらのコンソーシアムとの連携を更に深める事で、質を更に高め、効果的なタレント発掘活動を実現する。

1 - 3. J-STAR プロジェクトとの連携による発掘・育成

日本スポーツ協会が主催する J-STAR プロジェクトからも質の高いタレントが多く発掘されている。2 年間の本育成プログラムが終了した後、NF 育成に繋がる選手やエリートアカデミーに進む選手も輩出されている。今後も連携を強化しタレント発掘・育成を継続していく。

(2) 長期的ビジョンによるタレント選手の育成

2 - 1. U21 タレント育成

サッカー競技などでは細かい年代別の育成システムが確立されているが、ボート競技においても、オーストラリア・ニュージーランドなどでは U21 枠が独自に制定されている。成長までに時間のかかるスポーツにおいては段階別のシステムを作成する事が有効である。現在、U19 までの育成環境はほぼ揃いつつある。しかし、U19・U23・シニアの各カテゴリーと続く長期間育成システムの中において U19 と U23 での競技力の差は大きく、継続的な育成を考えた際、U19 と U23 の間を補完する U21 枠は最低限必要な強化枠である。

2 - 2. U21 の育成システム

日本ボート協会では昨年から新たに U21 枠を設定した。本年はこのカテゴリーにコーチを配置し、この育成システムをさらに充実させたい。U21 独自の合宿や U23 との合同合宿を計画している。U21 から U23 への段階的強化育成環境を整備する。

2 - 3. U21・U23 育成拠点整備

2019 年度以降は、U21・U23 世代の育成拠点を整える必要がある。U21・U23 世代が所属するチームを育成拠点の一つとし、拠点形成を行う。各チームと協議を進め、育成拠点形成を進める。

また、ナショナルチームのトレーニングメソッドを年間通して実施していただくためにも各チームとの議論を重ねていく。

2 - 4. ヨーロッパ・アジア・オセアニア地区との連携

現在、海外での育成事業において航空機での移動・時差調整を考えると、韓国・中国・香港・オーストラリアといったアジア・オセアニア地区に海外拠点を作る事は重要である。特に、オーストラリアは世界最強の強豪国の一つでもあり、そこでの拠点形成により、常に世界のトップを視野に入れた育成が可能となる。また、すでにシニアにおいて拠点となっているフランスにおける長期滞在型の育成をU21 タレント育成拠点としても活用していきたい。これらのプログラムを通して諸外国のローイング文化を学ぶよいチャンスとなる。

2 - 5. 各種教育プログラム

自分自身や他人と向き合ったり、各国のローイング文化に触れたりすることによる学びは、その後のステップアップに重要な内的動機づけを促す成長プロセスである。インテグリティ教育を推進し、代表合宿中に複数回、講師を招聘し講習会やレクチャーを行う。選手自身が自らの考えを発信し、他者の意見を聞いたり、リーダーシップを発揮するゲームを行ったり、社会貢献活動等の協会オリジナルの企画も行う。

(3) 種目最適型タレント発掘事業の実施

3 - 1. シニア・U23 カテゴリーのタレント発掘

これまでのタレント発掘は主に、若年層を対象とするものが中心であった。しかし、ボート競技は競技適正年齢が高く、小学校・中学校レベルではその種目適正についてすべてを見抜くことは難しい状

況がある。ボート強豪国のイギリスやオーストラリアでは、シニア・U23 カテゴリー選手の発掘を実施し、成功を収めている。イギリスではナショナルチームの約 6 割がタレント発掘事業により見出された選手である。そして、その多くは、「種目最適型」タレント発掘事業からの選手である。ボート競技でワールドレベルを発掘するには、この年代の「種目最適型タレント発掘事業」を構築する必要がある。これまでの発掘・育成手法を存分に用い「短期育成型タレント発掘・育成事業」を実施する。

3-2. U23 における骨格的要素を加味した発掘・育成「U23 Tall Talent Program」

オープンカテゴリーの強化を目的に、骨格的要素を加味し選手を発掘を行う。U23 Tall Talent Program(TTP)は U23 世界選手権日本代表チームの合宿期間外に合宿を行う。基本的には戸田、瀬田等でそれぞれ 7 月を除く各月に 3 日程度、U21・U23 コーチが選手及び指導者を招集し実施する。JARA ホームページや Crew Japan フェイスブック、その他媒体を利用し PR を行い、常時エントリー可能で、ボート競技未経験者も受け付ける。

(4) JOC エリートアカデミーとの連携による強化の推進と今後のパスウェイ構築

4-1. エリートアカデミー (EA) 選手について

2018 年 3 月現在エリートアカデミー生は 4 人在籍している。その全員が 2019 年世界ジュニア選手権の代表となっている。高いフィジカルレベルを持つ選手が発掘された後に 3 年間ナショナルトレーニングセンターに宿泊し、戸田 NTC 拠点でトレーニングを行っている。ナショナルチームのトレーニングメソッドを 365 日実践できる環境がある。

4-2. 学業との両立

諸外国の選手育成で重要視されているのは、学業との両立である。タレント性のある選手が、将来

生きていくための基礎を確立すべく十分な教育を受けさせた上でボート競技に専念できる環境を整えたい。その他の教育的プログラムも重要となる。エリートアカデミーはその考えにそったシステムの一つである。

4-3. 今後のパスウェイ

エリートアカデミー生の成果は確実に表れているが、高校3年間の後も継続的に一貫したトレーニングを実践する必要がある。EA時代を含めて最低5年間はNFとして育成していく。卒業後も所属クラブがナショナルチームのメソッドを行っていることによって長期間の同一メソッドによる育成が完成する。今後、大学やクラブチームと本件については協議を重ねていきたい。

U21・U23 カテゴリーの育成選手選抜指標

クライテリア

- ・Rowing Ergometer での 2 mmol/L 及び 4 mmol/L 時の出力
- ・Wattbike 3min test での平均出力
- ・身長
- ・選考レースなどのレース結果

それぞれの基準

性別	身長	RowingERGO 2mmol/W	RowingERGO 4mmol/W	Wattbike 3min Test
男子	175 cm以上	3.6W/kg	4.3W/kg	6.3W/kg(75kg 換算 475W)
女子	165 cm以上	3.3W/kg	3.5W/kg	5.4W/kg(60kg 換算 325W)

U23 Tall Talent Program (TTP) 選抜指標

・23 歳以下で①②のどちらかの要件を満たすもの

性別	身長	① 2000mErgo Time	② Watt Bike Time
男子	182 cm以上	6 分 25 秒以下	6.3W/kg(抵抗値 7)
女子	170 cm以上	7 分 25 秒以下	5.4W/kg(抵抗値 5)

・日本ボート協会タレント発掘委員会（事務局宛：talent@jara.or.jp）に e-mail にて、氏名、ふりがな、性別、生年月日、身長、体重、連絡先（携帯電話番号）、e-mail アドレスを本文に記入の上、①2000mErgo Time 若しくは②Watt Bike Time で上記の記録をクリアしたモニター画面の写真を添付し申し込む。

・タレント発掘委員会がエントリーした選手を招集し、エントリーしてきた①もしくは②の測定を行い、基準を再度クリアした場合は U23 Tall Talent 候補と認定する。

・U23Tall Talent 候補のトレーニングをナショナルチームコーチが視察した後、その選手をタレント発掘委員会に推薦し正式に認定される。